有機農業推進総合対策のうち
有機農業新規参入者技術習得等支援事業
（有機農業新規参入者技術習得支援事業）

株式会社マイファーム　有機農業者支援事務局

有機農業新規参入者技術習得支援事業

どんな事業？

(1)有機JAS制度及び品目別講習会に関する研修等の受講・受検の支援

新たに有機農業に取り組む農業者に対し、有機JAS認証を取得する際に係る費用を一部補助する

(2)品目別技術習得講習会の開催

新たに有機農業に取り組む農業者を対象に複数の品目を対象とし複数回の栽培技術講習会を開催する

(3)受講・受検の成果のフォローアップ

支援対象者の研修等の受講・受検の成果を把握するため有機 JAS 認証取得に向けた取組状況を把握するアンケート調査の実施する

(4)事業リーフレットの作成及び支援希望者の募集

(1)の支援や(2)の講習会への参加を希望する者の広報・告知を実施する

有機農業新規参入者技術習得支援事業

(1)有機JAS 制度に関する研修等の受講・受検の支援

(補助経費対象)

有機JAS講習会の受講
上限3万円まで
※教材代含む

ほ場の実地検査
上限9万円まで
※検査員の交通費も含む

(支援対象者の条件)

支援対象者は、以下の（ア）から（エ）までの全ての要件を満たすものとする。

(ア) 営農の一部若しくは全部において国際水準の有機農業に取り組んで５年以内である、もしくは今後取り組むことを予定していること。

(イ) 過去に有機ＪＡＳほ場実地検査を受けていないこと。

(ウ) 本事業期間中または終了後、有機ＪＡＳ認証を取得する意向があること。

(エ) 弊社が行うアンケート調査や事業実施年度の翌年度以降に行う有機ＪＡＳ認証取得状況調査に協力すること。

※　国際水準の有機農業とは、有機 JAS に定められた取組水準の有機農業であり、植え付け前等２年以上の転換期間の設定や周辺ほ場からの飛来防止措置等が必要。

※　講習会の受講においては、経営体で勤務する構成員でも可（当該経営体における代表者及び生産行程管理責任者、格付責任者を務めている又は務める予定の者に限る。）

※　有機 JAS 認証の対象品は、有機農産物を基本とし、有機飼料については、牧草や飼料作物の生産であれば対象とする。

有機農業新規参入者技術習得支援事業

(1)有機JAS 制度に関する研修等の受講・受検の支援

◆実績

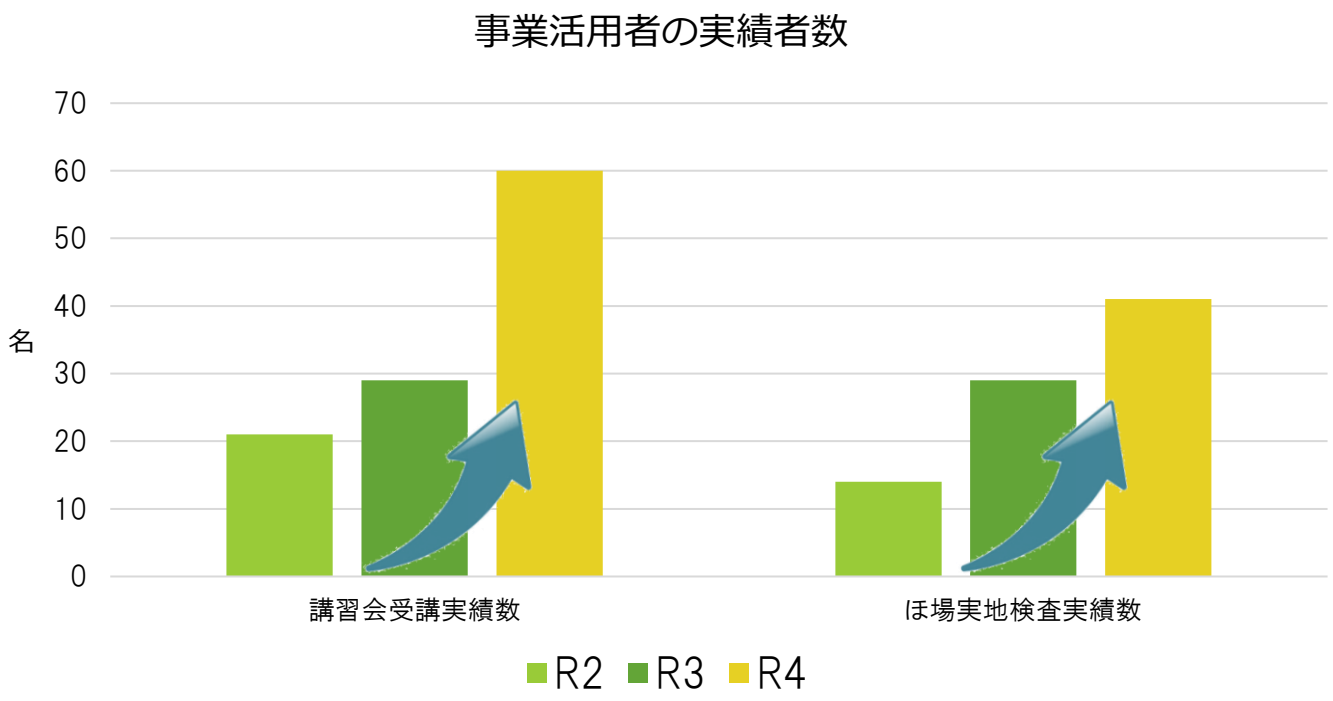
令和4年度 実施結果

申込件数 66件

講習会受講実績数　60名

ほ場実地検査実績数　41名

事業の認知度も向上し、事業活用者は増加傾向



有機農業新規参入者技術習得支援事業

(2)品目別技術習得講習会の開催

誰でも参加可能で、参加費無料の“有機農業の技術力向上のための技術”を学べるセミナーを実施

計19回の開催　累計参加者　592名
(実地：7回　オンライン12回) ※実地は北海道、青森、新潟、千葉(2回)、京都、山口にて開催

場所	実施方法	日付	品目別	テーマ	参加者数
千葉県	リアル	7/20 10:00~17:;00	野菜・果樹・水稲	有機栽培基礎理論	37
ー	オンライン	9/2 15:00-16:20		物理性改善のための心土破砕・土づくり、機械の種類・使い方	62
ー	オンライン	9/28 17:00-19:00	柑橘	柑橘総論と事例	34
北海道	リアル	10/2710:30-16:30	野菜・果樹・水稲	有機栽培基礎理論	24
ー	オンライン	11/1 16:00-18:00	トマト・イチゴ	データ連動型有機栽培技術	23
青森県	リアル	11/3010:30-16:30	野菜・果樹・水稲	有機栽培基礎理論	16
ー	オンライン	12/6 17:00-18:10		有機JAS取得前・取得後の管理業務レクチャー	18
ー	オンライン	12/09 15:00~17:00		有機農業の経営管理、経営改善	67
新潟県	リアル	12/1410:30-16:30	野菜・果樹・水稲	有機栽培基礎理論	8
ー	オンライン	12/23 16:00-18:00		緑肥（カバークロップ）の基礎・使い方	34
ー	オンライン	12/2716:00-17:30		土壌肥料学から学ぶ有機農業に適した土壌と分析	43
山口県	リアル	1/1410:30-16:30	野菜・果樹・水稲	有機栽培基礎理論	25
京都府	リアル	1/27 13:00-15:00	トマト・イチゴ	データ連動型有機栽培技術	17
ー	オンライン	1/3115:00-17:00		病虫害の抑制と土壌微生物の多様性	49
千葉県	リアル	2/913:30-15:30	キャベツ、白菜、葉菜類	葉菜類の中規模・有機栽培管理	6
ー	オンライン	2/1715:30-17:00		有機農業・自然農法における水田雑草の抑制技術	49
ー	オンライン	2/2217:00-18:30	落葉果樹	共生科学から考える落葉果樹類の持続的栽培・有機栽培	30
ー	オンライン	3/615:00-16:30		太陽熱土壌消毒のメカニズムと実践	36
ー	オンライン	3/815:00-16:30		有機のイネ育苗培土の病害抑制効果	22

開催リスト

品目別講習会(実地)

品目別講習会(実地)

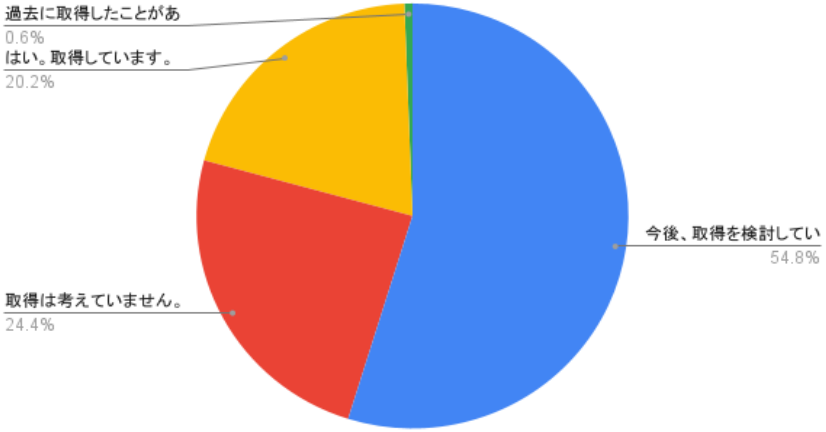
有機農業新規参入者技術習得支援事業

(2)品目別技術習得講習会の開催

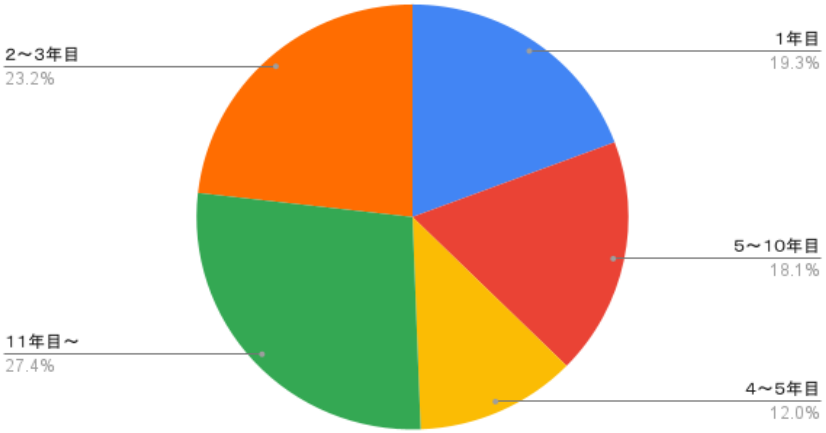
農家･非農家の参加者が半々（農家は就農年数の若い農家が多数参加）
約半数の参加者が今後有機JAS認証の取得意向がある
約8割がセミナーに満足

属性

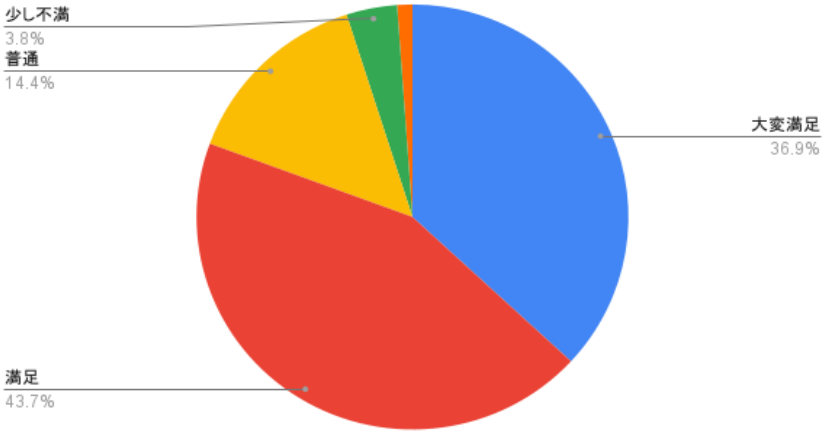
「有機JAS認証を取得していますか？」のカウント数



就農年数



「今回のセミナーに満足していただけましたか？」のカウント数



有機農業新規参入者技術習得支援事業

(3)受講・受検の成果のフォローアップ

支援対象者の研修等の受講･受検の成果を把握するため有機 JAS 認証取得に向けた取組状況を把握する（WEBによるアンケート調査を毎年6月頃開催予定）

令和4年度事業の活用者の有機JAS認証状況(2023年2月末)

		米	麦	大豆	牧草	野菜	果実	その他	備考
R4	北海道	1		2	16	3			北海道22名
	東北					1			福島県1名
	関東甲府	2				5	3	1	茨城県1名、群馬県1名、千葉県4名、東京都1名、山梨県1名、長野県3名
	北陸								
	東海							1	静岡県1名
	近畿	1				1			兵庫県2名
	中国四国					1			島根県1名
	九州					2		1	佐賀県1名・熊本県1名・鹿児島県1名
	沖縄								
計		4	0	2	16	13	3	3	

有機農業新規参入者技術習得支援事業

(4)事業リーフレットの作成及び支援希望者の募集

募集WEBページの開設・関連・関係機関への広報・周知依頼、Web広告への出稿、チラシの作成、問い合わせ窓口設置による個別対応等を行い、応募促進を実施

＜募集WEBページ＞ https://www.organic-support.jp/

有機JAS認証制度やメリット紹介

＜チラシ＞

全国の有機JAS認証機関・地方自治体へ発送し周知、事業紹介の協力依頼

＜WEB広告＞

バナー設置による応募誘導

＜問い合わせ窓口＞

お問い合わせ先	株式会社マイファーム 有機農業者支援事務局（技術習得） Mail：organic@myfarm.co.jp Tel：050-3333-6928 （電話受付時間：平日13:00-17:00）

応募者・支援者の不明な点に対する個別の支援